

様式第4号（英語指導法改善研究）

大山小発第229号  
令和7年2月20日

宜野湾市教育委員会  
教育長 仲村 宗男 殿

学校名 宜野湾市立大山小学校  
校長名 比嘉 秀次 印

指定研究実績報告書（英語指導法改善研究）

令和6年5月13日付け大山小発指令第44号による指定研究を終了しましたので、下記のとおり研究実績を報告します。

記

- 1 研究報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
  - ① 研究主題
  - ② 研究主題の設定理由
  - ③ 研究の主な内容
  - ④ 研究の成果と課題
  - ⑤ 外部評価
  
- 2 経費の内訳状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部（提出済）

## ～令和6年度 大山小学校の取り組み～

### ① 研究主題

#### 他者を意識して、自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成

—外国語でのコミュニケーションを楽しむ授業づくりを通して—

### ② 研究主題設定の理由

現代社会は知識基盤社会であり、こうした社会認識は今後も継承されていくものであるが、近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて加速度的に進展するようになってきている。そんな時代を生き抜いていく子どもたちには未知の世界を切り拓く逞しさが不可欠であり、主体的に向き合って関わり合い、自ら問いをもちその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められる。

外国語・外国語活動は、外国語を用いて尋ね合い、伝え合い、コミュニケーションを楽しむことのできる児童の育成をねらいとしている。また、「話すこと」が[やり取り]と[発表]の2領域に分かれ、より自然な[やり取り]や自分のことをわかりやすく伝えるための[発表]を行い、話しやすさ・伝わりやすさ・わかりやすさ等を他者へ配慮しながら思考・判断・表現することでコミュニケーションの素地(基礎)となる資質・能力の育成することもねらいである。

本校においても、宜野湾市のこれまでの取り組みを活かし、高学年は教科としての外国語を実施、評価し、低中学年は外国語活動を再構築する。英語を使って思いや考えを伝え合う言語活動を通して、自他をたいせつにするコミュニケーションの素地・基礎を育てていきたい。そのために、相手の発する外国語を注意深く聞いて、相手の思いを一生懸命に理解しようとしたり既習の知識を活用して、相手や他者に自分の思いを何とか伝えようとしたりする体験を通して、言語によるコミュニケーションの難しさや大切さを体得し、人と関わることの楽しさや喜びを感じられるようにしていきたい。

以上のことから外国語・外国語活動のメインテーマを「他者を意識して、自分の思いを伝え合うことができる児童の育成」とし、サブテーマを～外国語でのコミュニケーションを楽しむ授業づくりを通して～とする。

### ③ 研究の主な内容

高学年が教育出版社の教科書『ONE WORLD Smiles』を活用し、教科としての外国語を実施し、中学年は文科省発行の『Let's Try』を活用する。外国語・外国語活動を「思考・判断・表現」する場面を設定し、尋ね合い伝え合い、コミュニケーションを楽しむこととする。教師自身が学びのモデルとして授業実践し、外国語・外国語活動を楽しんでいきたい。

#### 低学年

・あいさつ(自己紹介)・気持ち・天気・曜日・色・形・くだもの・野菜・動物・体の部分・数・伝統行事

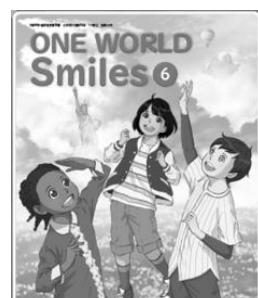
※絵本を活用した授業

※体を動かす活動(歌・ダンス)

#### 中学年



#### 高学年



【年間研究計画】

	英語授業		宜野湾市特例地域	学校行事
1学期	5年6年 HRT ALT	1-4年 HRT ALT	【4月】 ALT研修 【5月】 英語主任研・予算説明会（未定） 特例地域研修案提出 ○教育委員会によるALT授業参観	4/7 始業式 4/10 入学式  7/20 終業式
2学期			○教育委員会によるALT授業参観 ○教育委員会による研修会(仮) 【12月】 英検 Junior(5・6年) 英会話形成テスト(1~4年)	9/1 始業式 10/4-5 修学旅行(6年) 10/12-13 自然体験学習(5年) 11/18 運動会 12/23 終業式
3学期			【2月】 決算・報告書提出	1/9 始業式 2/14 県到達度調査(5・6年) 3/18 卒業式 3/19 修了式・離任式

【授業の実際】

第5学年 外国語活動学習指導案

1 単元名 I'd like pizza.

One world 1 (文部科学省 教材)

年間指導計画 1月指導内容

2 単元の目標

- 食べ物や料理,ねだんの表し方がわかって,言うことができる。(知識・技能)
- 注文したり,注文を受けたりする表現がわかって,言うことができる。(知識・理解)
- おすすめのメニューを考えて,ワークシートに書くことができる。(思考力・判断力・表現力)
- 注文したり,注文を受けたりするやり取りができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ていねいな表現を使い,気持ちをこめてやり取りをしようとする。(学びに向かう力,人間性等)

3 単元について

(1)教材観

本単元では, レストランでの注文のやり取りを中心に, さまざまな食べ物・飲み物名を扱う。冒頭の Let's Watch は, 家族それぞれがレストランで “What would you like?” “I'd like...” の表現を使い, 注文のやり取りをする場面である。既知の “What do you want?” “I want...” とは異なる丁寧な表現である。日本語と同様に, 英語でも場面に応じて言葉を使い分けることに気付き, 単元を通してその表現を身につける。その他, 家族の名称, 料理の名前の表現も登場する。

## (2)児童観

### ①単元・教材に対する児童観

本単元は、丁寧な表現を使ったやり取りや値段の尋ね方や答え方のやり取りを行う。4月当初から、児童はペアトークで積極的に話すことができるため、インタビューやお互いにやり取りする活動を楽しみながら学びを深め、場面に応じて言葉を使い分けることに気付きながら表現できると考えられる。

### ②児童の実態

児童は、低中学年では 35 時間、高学年では 70 時間の外国語活動の授業を経験している。ALT や担任の話す英語の大まかな意味を理解し、楽しく英語の授業に参加する児童が多い(※)。しかし、英語をもっと話せるようになりたいと思う児童が多い一方で、英語で話しかけた経験を持つ児童は少ない(※)。英語を活用する目的や場面を想定し、それに応じた英語を自ら思考し、判断し、表現できるよう授業を組み立てることで、自ら英語を活用することにつながると考えられる。

※令和 5 年度 英検 Jr.アンケート集計結果より

## (3)指導観

本単元では、丁寧な言葉遣い What would you like? I'd like... や The check, please. など場面設定を利用して、体験的に身に付けさせる。お勧メニューを考える際に、『誰かのために』と相手意識をもたせることで、『気持ちを込めて丁寧に』という意識を高めさせたい。また、人に見せるものとして、メニューの料理名を丁寧に正確に書かせるようにする。

## 3 単元の評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう態度
食べ物や料理の名前, How much? It is ...yen., What would you like? I would like .... という表現について理解している。 レストランでだれが何を注文したか聞き取る技能を身に付けている。	レストランでだれが何を注文したか、また、いくらだったかを聞き取っている。 レストランで注文をしたり、注文を受けるやり取りをしている。	レストランでだれが何を注文をしたか、また、いくらだったかを、聞き取れない場合は、繰り返してもらおうなどして、聞き取ろうとしている。 店員やお客になりきって、レストランで注文をしたり、注文を受けるやり取りをしようとしている。

#### 4 単元の指導計画・評価計画

時間	主な評価基準(観点)	【評価方法】及び 支援が必要な児童への手だて	主な学習活動 本時の主な問題・課題
1	まとまりのある話を聞いて、おおよその意味を理解している。【知】	無理にリピートさせるのではなく、気付きを確かめるようにする。(ワークシート)	紙面や動画から推測できたこと、わかったことについて積極的に意見交換し、意欲的に取り組もうとしている。
2	丁寧に注文をしたり受けやりする表現や食べ物の名前等を聞き取ったり、大きな数字の言い方を知って、たし算の答えを英語で言ったりすることができる。【知】	My Word Bank(p117)を活用し言葉を言いかえるサポートをする。	チャンツを聞いて、音声の後に続いて、発声する。 全体で聞いたり言ったりする。 グループ・ペア・列で役割分担をして発話させる。
3	外国の文化に関心を持ち、自国・郷土の文化についても考えて積極的に取り組んでいる。【思・判・表】	上手にコミュニケーションが取れない児童にはその間に入ってサポートする。 気付きを確かめる。(インタビューのメモ・ワークシート)	What would you like? I'd like...を使って、クラスメイト数人とインタビューし合う。 自分が尋ねた相手の答えをメモする。
4 本時	丁寧な表現での注文や、値段のやり取りをすることができる。【知・技】	見本や口頭練習をまねることが難しい児童には文字化しゆっくり読みながら話すサポートをする。 自分やクラスメイトのメニュー・注文が完成しているか確認する。(ワークシート)	トッピング・飲み物・アイスクリーム・注文の仕方を口頭練習する。 値段を尋ねたり答えたりするやり取りの口頭練習をする。 ペアを組んで一通りの注文のやり取りを行う。
5	おすすめのメニューを考えて、ワークシートに書くことができる。【思・判・表】	語彙や表現の絵カードを掲示し参考にさせる。1000円以内でメインディッシュといくつかのサイドメニューが注文できるような価格設定となるようにアドバイスする。	メニュー作りについての説明を聞きどんなメニューにしたいか理由と共に考える。 メインの料理2つとその値段をワークシートに書きペアや周りで紹介し合う。
6	丁寧な表現を使って、注文をしたり注文を受けたりするやり取りができる。【思・判・表】	店員役の児童には伝票に書き込みながら注文を受けるときのサポートをする。 客役の児童にはオリジナルメニューに基づいて注文をするときのサポートをする。	店員役と客役の両方を経験し、やり取りの表現をひと通り行う。 あいさつやお礼、しぐさや声の表情も取り入れながら行う。

6 本時の指導 「Let's learn key vocabulary words for ordering food at a restaurant」 (4/6 時間)

(1)ねらい 丁寧な表現を使ったやり取りや、値段の尋ね方や答え方のやり取りをしよう。

(2)本時の評価基準

相手を意識して丁寧な表現での注文や、値段のやり取りをすることができる。(思・判・表等)

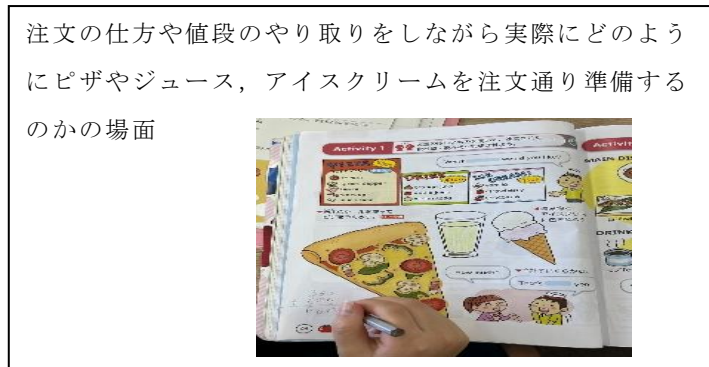
(3)「めざす子どもの姿」の実現に向けた授業改善(教材・発問・問い返し・過程の工夫等)

○絵カードや活動用シールを使うことでお互いが自主的にやり取りすることが期待できる。

○過程の工夫：インプット→(全体での)アウトプット→思考・判断・表現するコミュニケーション

過程	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点・評価等
Warming up	1 Greeting & Rule 2 Small talk 3 めあて		
	4 Sub Activity ①Let's listen2 ( p 83) Introduce vocabulary 音声を聞かせ口頭練習させる。	It' s _ the_. What (topping)would you like? What (drink, ice cream) would you like? How much? What (drink)would you like? I'd like apple juice. Apple juice.Ok. What(ice cream)would you like? I'd like strawberry ice cream. Strawberry ice cream.Ok. How much? That's 660 yen. Here you are. Thank you.	友達とほしいものやその値段をたずねたり答えたりしよう。  ・インプット/アウトプット ・インプット→(全体での)アウトプット→アウトプット ・話すモデルとしてのインプット
Activity	5 Main Activity ①Let' s talk ペアで注文のやり取り・値段を尋ねたり答えたりする。 □教科書 (p84) にトッピングなどのステッカーを貼り付け値段を計算しながら活動する。		
Conclusion	6 まとめ (挙手) 丁寧な表現でお互いに注文や値段を尋ねたりできたか。 振り返り(カードに記入)		◎伝える相手のことを意識して丁寧な表現ができた。(思判表) <b>【観察】</b> ・めあてと連動したまとめ・振り返り

(4)展開



#### ④研究の成果と課題

##### ☆成果

- 知っている単語や表現で自分のことを伝えようと一生懸命に話す児童が増え、コミュニケーションへの意欲が高まった。(授業以外でも)
- 実際の生活につながる場の設定で、自分の思い、やりたいことなどを話すことができた。
- 低学年は単元ごとに関連のある絵本やダンスを活用し、実態に合わせた授業ができた。
- 他教科と関連付けた学習ができた。(生活科・総合的な学習の時間・図工・国語・算数)
- 学校行事と関連付けた学習ができ、語彙や表現の習得が高まった。  
(運動会・社会見学・修学旅行・学習発表会など)
- Christmas・Chinese Zodiac**(十二支)などの伝統や文化を学ぶことができた。
- 英語ルームの整備(机・椅子・電子黒板)のおかげで気持ちを切り替え、授業がやりやすくなった。(1学期)
- 単元づくりから英語担当や**ALT**と行うことで、打合せがスムーズで見通しをもった授業ができた。

##### ☆課題(→改善策)

- 高学年は教科となり評価の難しさがある。→研修や評価補助簿を作成していただいたことで評価のしやすさにつながった。全教師への周知研修会への参加や校内研での研修を計画していきたい。
- 学び合いや思いを伝えるのが苦手な児童がいる。→他教科との共通実践で、学習集団づくりを行う。
- 振り返りの時間が十分に取れないことが多かった。  
→授業導入の**Greeting**や**Rules**を簡素化(省略)して、**Activity**や振り返りの時間を確保したい。

#### ⑤外部評価

##### 【学校運営協議会の評議員より】

- ◎2学年の授業風景を参観して、いきいきと楽しそうに英語を楽しんでいる様子が見れて良かった。
- ◎低学年から英語に親しんでいるのがとても良いと思う。子ども達がこのように英語に対して興味関心を高めると、親も英語に興味をもってくれるようになり、一緒に語学を楽しめるようになると思う。
- ◎本校は多国籍の児童も多いため、英語が身近にあることもあり、授業で低学年から学ぶことは国際的な感覚も身につけ、良いと思う。
- ◎ぜひ、英語特区を次年度以降も続けて欲しい。